

KUMAGAYA SOUTH
Rotary Club of
Saitama RI
Dist. 2570



2009.2.25



President : Hiroshi Kato
Secretary : Naoki Takada
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi

No. 29

Dong Kurn Lee
RI President, 2008-09
Kazuo Mashita Governor
RI Dist 2570

第539回 姉妹クラブ訪問報告



オーストラリア・アッパーヤラRC
訪問のビデオを映しながら帰国報告
をする加藤博会長

アッパーヤラRCの例会へメーキャップして
大歓迎を受けた様子がモニターに映っています



会長挨拶

会長 加藤 博

皆様こんにちは

本日はお忙しい所ご出席ありがとうございます、先週18日はIMと言うことで、多くのメンバーに大変お世話様になりました。又 先日7日より11日まで姉妹クラブ アッパーヤラロータリークラブへ訪問して参りました。着いた前日は山火事があったと言うことで驚きましたが予定通り9日の月曜日夜7:00より例会があり参加させていただくことができ大歓迎をしていただきました。これらもすべて姉妹クラブを結んだ澤田パスト会長はじめメンバーのおかげだと思いました。これからその時

のことを報告する予定です。

この2週間にわたってのロータリーことでは14日(土)にライラデイと言うことで嵐山の婦人会館へ2人つれていって来ました。そして棚沢エレクトさんには1月31日(土)の職業奉仕セミナーについて1月14日(土)に財団セミナーへ行っていただきありがとうございます。

又 おととい23日には藤間病院さんにおいて役員会と、その後植竹委員長さんをまじえて今日の打合せをしました。

その話の中で、植竹委員長さんよりアッパーヤラの近隣の山火事に対してお見舞いの話ができました。植竹さんはすでにアッパーヤラの会長にお見舞金をおいてきています。南クラブでお見舞いをする場合、どうゆう形でやればいいのか考えてみたいと思います。以上であいさつさせていただきます。

本日のプログラム 3月4日(水) 親睦例会



植竹知子会員の帰国報告。 加藤博会長・菱沢副会長の迷？コンビと同行してのオーストラリア旅行はさぞ骨が折れた有意義だったことでしょう。 現地では宿泊予定のホテルも閉鎖されるという大規模な山火事もあり、姉妹クラブに何か火事見舞いができないかという、NPO活動も熱心に行っている植竹さんらしい配慮のコメントもありました。



委員会報告

第2回ロータリー財団 セミナー

棚澤 正行会長 エレクト



2009年2月14日(土)東松山紫雲閣に行っていました。

ガバナーのあいさつで始まり、全体会議として小池部門委員長より表彰財団の使命、チャレンジ寄付金などの説明があり、細井財団推進補助金委員長よりロータリー財団の寄付実績及び目標、財務報告補助金の申請について説明がありました。

ガバナーのあいさつとして「財団は皆さんが汗を流すための財源である。1ドル88円の1,2月が寄

付をするチャンスですよ。」とのことでした。

ガバナーエレクトは、「国際協議会に出席した時、ビル・ゲイツが2回目の2億5500万ドル寄付をするという話が出て、RIも1億ドル寄付しなければならないと言うことで、帰りの飛行機は気が重かった。」と言っていました。

橋田アドバイザーは「45年ロータリークラブに在籍し、辞めようとしたこともあったが、そのあと執行部に入りロータリークラブの奥深くにふれ一人前になり現在に至っております。また、深谷が財団の寄付で一番ということは喜ばしいことである。気がついたこととして「本日は地区の研修が4つ重なっています、これは地区幹事が悪いからバッティングしたということを反省していただきたい。」と指摘しておりました。

次に小池部門委員長から、一人100ドル以上の「財団の友」についての説明、表彰がありました。



アップーヤラRCの例会へメーキャップした際には、英語で見事なスピーチを披露した菱沢利行副会長。聴衆から大喝采を受けて、さすが我がクラブ初代会長の存在感をあらためてアピールしてくれました。メルボルン市内観光でも路面電車で市民に（もちろん英語で）気さくに積極的に話しかけて、加藤さんと植竹さんをハラハラさせるたのもしくさせるという意外なパフォーマンスもあったそうです。



“Doing good in the world”という100年前の言葉を財団では使っているそうです。

また、先ほどの「チャレンジ寄付」について、10人のクラブと100人のクラブは公平ではないので、\$130/一人/年に変更とのこと。この件はインターネットで先行発表してしまい、地区の方としては、PETSまでに寄付目標を示す予定であるとのことでした。各クラブの事務局に財団財務報告書があるはず。見ておいてくださいとのこと。

その中で、収入会計2億4570万ドル（ビル・ゲイツの寄付を含む）でも4,430万ドルの赤字、今までの10年は平均して8%で運営してきたそうです。そもそもロータリーにおける寄付というものは、ロータリーの要覧に任意と1行目に書いてありますが、ガバナーのところをみると「あらゆる機会を通じて、寄付の奨励に会員を説得するように！」と書いてあるそうです。

また、セミナーブックを昨年の11月19日にもらってきている中で、地区補助金について内容がかなり変わっているようで、今まで出た補助金が出なかったりするので、申請の際はよく確認してほしいとのこと。

休憩を挟み間庭GSE委員長よりGSEとはどんなものか説明がありました。

GSE (group study exchange) は3年に一度なっていますが、これは、予算の関係でそうなっているとのこと、次回は2011年の予定になっていますが、まだどこにするか決まっておらず現在は検討する時期とのこと。ちなみに前はケンタッキー州でした。かのカーネル・サンダーもロータリーアンであるということです。

続いて、松本奨学学友委員長より国際親善奨学生についてのお話と2009年～2010年派遣国際親善奨学候補生のスピーチがありました。留学生の中の

お話の中で1人紹介させていただきます。

横田さんという女性が、着物を着ていらっしやいました。この方はミラノへ留学してきたそうです。「現地の多くの子供たちは日本のことを知りませんが、ポケモンはよく知っている。大人でも、三島由紀夫、吉本バナナなどの作家のことは知っている。」という程度の認識しかない人もかなりいます。留学生の務めとして正しい日本を伝えたいと思っています。」

国際交流のお手伝いで、ドイツの国旗を持たなければならない機会があったそうです。日の丸というのは上下がありませんが、ドイツの国旗は黒赤黄色の三列です。横田さんは落としてはいけないと、いうことに気を取られ、逆さにずっと持っていたそうです。懇親会の時にドイツの方にそれを指摘され、恥ずかしさと申し訳なさでいっぱいになってしまったそうです。

でも、その方たちは、ドイツのことを知ってもらいたかっただけで、逆さを指摘したかったのではなく、「うちの国の国旗をしっかりと支えてくれて誇しかった、ありがとう！」と言っていたそうです。ドイツの人の日本に対する啓蒙も必要ではあるが、自分自身もドイツのことを知らないことを再認識いたし、このエピソードから、日本のことをアピールする前に、相手の国のことももっと勉強しないとはいけないと感じたそうです。

最後に質疑応答の時間をとりました。その中で「大学生で候補生になるのに高校を卒業してから2年たっているという条件では3年生の後半でないと参加資格がなく、卒業論文をかけないことになり、卒業を棒にふるということなのではないでしょうか？1年半にしてくれればいいのに！」という質問に対し、今までは大学を修了した人が多かったので、問題がなかった。という答えでした。

次の質問として「財団の資産運用はどうなっているのか、マイナス1億6700万ドルということは、7億ドルしかないのに、株を売らないから、株が上がれば、資産は元に戻るという事務総長が言ったのはおかしい。このままいくとみんなで集めた財団の資金が損失補てんに使われるのではないのか？今委員長として、会員も減少している中寄付を集めるのは大変である。この辺をはっきりしていただかないと集めにくい。」という質問(意見)に対し、地区としてはよく調べてというあいまいな答えしか出なかったです。

先日の職奉セミナーとは打って変わって「留学制度のすばらしさ、ロータリーとは何ぞや?、寄付ということとは？」というような別の意味で濃い話を聞いてまいりました。

以上

● 出席報告

高田 直樹 幹事

例会日 2月25日



会員数	出席	欠席	MU	出席率
27	15	0	0	56%

● ニコニコBOX

加藤公一副委員長



加藤博会長・高田直樹幹事

本日はお忙しい所ご出席ありがとうございます。おかげ様で、姉妹クラブアッパーヤラロータリークラブに行って参りました。お土産のワインを御賞味ください。残り4ヶ月もよろしくお願い致します。

植竹知子会員

オーストラリアから戻りましたら、ヤギの赤ちゃんが生まれていて、ヤギ育てに大変です。死にそうになって、病院に行き、鼻から管を通して、胃まで、乳絞りをしてミルクを3時間毎に入れていきます。子育てと一緒にです。

佐川順一会員

加藤会長、菱沢副会長、植竹会員、お帰りなさい。あちらでは大歓迎を受けたそうだなによりです。両クラブ友好のために大変おつかれさまでした。ご苦勞をねぎらわせていただきます。お土産があるようで楽しみです。

棚澤正行会員

加藤会長、菱沢副会長、植竹社会奉仕委員長、親善大使のお役目御苦勞様でした。山火事があったりと大変でしたね！報告会、楽しみです。

熊谷南ロータリークラブ

会報 広報(IT)委員会

島崎次弘・植竹知子・井上哲孝

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya south rc.com

http://kumagaya-south-rc.com/